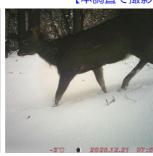
$ID^{{\hat{1}}1)}$ 公開い^{*}ル^{注1)} 保管形式^{注1)} 保管場所^{注1)} 211212 前回ID 発行年月/報告年月 報告書名称 2021年🗘 **4**₽ 🗘 令和2年度 白神山地周辺地域(秋田県側)における冬期ニホンジカ分布調査 /調査名称 資料形式注2) 報告書 調査機関 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター 委託機関 12月 🕹 2020年 **3**₽ 🗘 2019年 🗘 11月 🗘 2021年 🗘 調査開始年 調査期間 調查頻度注2) 調査時期注2 毎年 小区分^{注2)} 改訂 区分注2) ΙB 大区分注2) (3)モニタリング 計画 2017年3月 2 調查箇所•範囲注3) 調查手法 □ 核心地域 緩衝地域 ☑ 周辺地域 ☑ GPS等の位置データあり 白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査項目に挙げら れている二ホンジカの生息域を把握するため、白神山地周辺の越冬 場所と考えられる低標高地域において、晩秋から早春にかけて赤外 CREMENT S 線センサーカメラによる調査を実施した。 青森県 ■センサーカメラ設置箇所 白神山地周辺地域の西側に位置する八峰町の国有林内に、合計4 台を設置した(図1)。令和2年11月18日に調査を終了した『令和 2年度 白神山地周辺地域(秋田県側)における中・大型哺乳類調 査』の調査地点1〜4のカメラを、ニホンジカ調査用に冬期間も継 続して設置したものである。 ■調査期間 令和2年12月9日~令和3年3月11日 秋田県 • TREL10J ((株)GI Supply) : 3台(図1:地点1·3·4) • TREL10J-D((株)GI Supply): 1台(図1:地点2) 撮影されたニホンジカの性別及び個体数を記録したほか、その他 こ撮影された哺乳類・鳥類についても調査地点ごとにカウントして 集計した。 世界通路市

結果概要(スペースに収まるように入力してください)

調査期間中ニホンジカは2箇所から合計4頭撮影され、全てオスであった。ニホンジカも含め撮影された全ての動物の個体数を集計したところ、全調査地点で合計332個体、そのうち哺乳類は259個体であった(表1)。最も個体数が多かった哺乳類はキツネの120頭で、次いでタヌキ65頭、カモシカ21頭、ニホンノウサギ18頭、テン15頭と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類が9種、鳥類は2種であった。哺乳類が最も多く撮影された調査地点は3の138個体で、種数については調査地1と3が8種で最大となった。

【本調査で撮影されたニホンジカ】









調査地1:12月17日

調査地3:12月21日

調査地1:12月23日

調査地1:3月8日

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

※周辺地域における調査簡所は備者欄に示す

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3 TEL:0185-79-1003 IP:050-3160-5865 FAX:0185-79-1005

い合わせ

問い合わせ

≪原本(データ)の帰属について≫

- 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

